



平成30年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年12月13日

上場会社名 コーセル株式会社

上場取引所 東

コード番号 6905 URL <https://www.cosel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷川 正人

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 小西 有吉

TEL 076-432-8151

四半期報告書提出予定日 平成29年12月28日

配当支払開始予定日

平成30年2月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第2四半期の連結業績(平成29年5月21日～平成29年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	13,061	23.5	2,423	62.5	2,515	59.8	1,774	58.8
29年5月期第2四半期	10,573	6.3	1,491	9.3	1,573	8.5	1,117	7.4

(注) 包括利益 30年5月期第2四半期 2,055百万円 (110.5%) 29年5月期第2四半期 976百万円 (22.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	49.36	
29年5月期第2四半期	30.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第2四半期	43,364	39,162	90.2	1,088.79
29年5月期	41,648	37,687	90.4	1,047.74

(参考) 自己資本 30年5月期第2四半期 39,136百万円 29年5月期 37,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		10.00		16.00	26.00
30年5月期		16.00			
30年5月期(予想)				14.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成29年12月13日)公表いたしました「剰余金の配当(第2四半期末配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年5月21日～平成30年5月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,200	16.5	4,320	23.8	4,470	21.8	3,120	21.9	86.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成29年12月13日)公表いたしました「業績予想数値と実績数値との差異、及び通期業績予想修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期2Q	37,212,000 株	29年5月期	37,212,000 株
期末自己株式数	30年5月期2Q	1,267,296 株	29年5月期	1,267,258 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期2Q	35,944,729 株	29年5月期2Q	36,444,748 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善、堅調な設備投資等により景気は回復基調で推移いたしました。海外においては、米国及びヨーロッパ経済は引き続き堅調に推移し、中国やインド等のアジア経済は、若干の鈍化傾向が見られるものの、引き続き先進国に比べて高い成長率を維持しております。

エレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンの生産で一部調整が見られましたが、自動車電装化の進展、データセンター関連設備投資向けの電子部品需要増加を見込んだ、半導体製造装置の需要が引き続き堅調に推移するとともに、企業の自動化投資の需要も堅調に推移しております。

このような情勢の中で当社グループは、営業－開発部門の連携を強化しつつ、新製品を軸とした重点顧客への提案活動に注力してまいりました。

新製品につきましては、汎用一般産業機器向けユニット電源「PJAシリーズ」、1Uラック搭載可能高効率AC-DC電源「FETA7000T」を市場投入いたしました。

生産面では、堅調な需要への対応として、生産能力の増強を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は147億54百万円（前年同期比29.7%増）、売上高は130億61百万円（同23.5%増）となりました。利益面におきましては、売上高の増加に伴い、経常利益は25億15百万円（同59.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億74百万円（同58.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本生産販売事業

日本国内では、半導体製造装置及び工作機械を中心とした一般産業機器の需要が拡大し、大きく伸ばいたしました。

このような情勢の中、営業－開発部門の連携を強化し、新製品の拡販活動に注力するとともに、新規顧客の開拓、重点顧客の深堀活動に取り組んでまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、96億47百万円（前年同期比17.5%増）、セグメント利益は20億64百万円（同57.7%増）となりました。

②北米販売事業

米国では、医用機器・半導体製造装置関連の需要が拡大し、全体的には堅調に推移いたしました。

このような情勢の中、ファクトリーレップとの連携活動の成果として、新規顧客を獲得し、売上拡大につながりました。

この結果、外部顧客への売上高は、12億56百万円（前年同期比44.2%増）、セグメント利益は1億7百万円（同716.1%増）となりました。

③ヨーロッパ販売事業

ヨーロッパでは、医用機器関連が伸び悩みましたが、計測機器の需要が拡大し、全体的には堅調に推移いたしました。

このような情勢の中、重点ディストリビューターとの連携を強化し、新規プロジェクト獲得、新規顧客開拓に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、5億16百万円（前年同期比42.7%増）、セグメント利益は12百万円（同110.2%増）となりました。

④アジア販売事業

アジアでは、半導体製造装置関連の需要は好調に推移いたしましたが、一般産業機器を中心に需要が低迷いたしました。

このような情勢の中、ターゲット業界・顧客を絞り、新規プロジェクト獲得、新規顧客開拓に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、16億41百万円（前年同期比45.0%増）、セグメント利益は84百万円（同79.7%増）となりました。

⑤中国生産事業

中国生産事業においては、品質管理体制の強化と生産性向上活動に継続して取り組むとともに、顧客納期を意識した生産活動と部材調達を進め、顧客のニーズに対応してまいりました。

この結果、セグメント間の内部売上高は、6億円（前年同期比59.2%増）、セグメント利益は1億30百万円（同90.6%増）となりました。

なお、参考までに記載すると事業部門別の業績は、次のとおりであります。

1) 受注高及び受注残高

事業部門	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月21日 至平成29年11月20日)		当第2四半期連結会計期間末 (平成29年11月20日)	
	受注高(百万円)	対前年同期増減率	受注残高(百万円)	対前年同期増減率
ユニット電源	9,236	27.7%	4,024	117.2%
オンボード電源	4,839	31.6%	2,445	87.3%
ノイズフィルタ	678	45.4%	162	101.0%
合計	14,754	29.7%	6,631	104.7%

2) 売上高

事業部門	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月21日 至平成29年11月20日)	
	売上高(百万円)	対前年同期増減率
ユニット電源	8,382	22.4%
オンボード電源	4,049	23.3%
ノイズフィルタ	629	43.0%
合計	13,061	23.5%

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は236億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億27百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が29億37百万円、受取手形及び売掛金が2億3百万円、たな卸資産が4億2百万円増加した一方で、有価証券が41億50百万円減少したことによるものであります。

固定資産は196億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億43百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が2億41百万円、退職給付に係る資産が1億22百万円、投資有価証券が19億10百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は433億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億16百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は37億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円増加いたしました。これは、未払法人税等が1億63百万円、製品保証引当金が96百万円増加した一方で、未払金が1億25百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、4億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億79百万円増加いたしました。これは主に、退職給付に係る負債が1億24百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は42億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億41百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は391億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億74百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益17億74百万円、剰余金の配当5億75百万円により、株主資本が11億99百万円増加し、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の増加等によりその他の包括利益累計額が2億76百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は90.2%（前連結会計年度末は90.4%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ29億37百万円増加し、87億5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、17億12百万円（前年同期比19.5%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益25億14百万円（同59.9%増）に加え、減価償却費3億75百万円（同13.2%増）を計上した一方で、売上債権の増加額1億64百万円（同70.8%減）、たな卸資産の増加額3億82百万円（前年同期は減少額3億33百万円）、法人税等の支払額5億78百万円（前年同期比83.2%増）があったことを反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、17億5百万円（前年同期は使用した資金13億21百万円）となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入42億50百万円（前年同期比750.0%増）がありましたが、投資有価証券の取得による支出18億円（同20.0%増）、有形固定資産の取得による支出7億40百万円（同131.6%増）があったことを反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億80百万円（前年同期比97.1%増）となりました。これは主に、配当金の支払額5億74百万円（同97.4%増）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況や今後の経済環境、市場動向を勘案し、通期の業績予想を見直した結果、平成29年6月13日に公表しました通期業績予想（連結・個別）を修正いたしました。

	連結業績予想		個別業績予想	
	金額（百万円）	対前連結会計年度 増減率	金額（百万円）	対前事業年度 増減率
売上高	26,200	16.5%	24,350	15.5%
営業利益	4,320	23.8%	3,830	24.5%
経常利益	4,470	21.8%	4,080	22.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,120	21.9%	2,850	15.7%

なお、通期業績予想の前提となる為替レートは、1 USドル=111.30円、1 ユーロ=130.40円を想定しております。

具体的な内容につきましては、本日（平成29年12月13日）公表の「業績予想数値と実績数値との差異、及び通期業績予想修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,067,942	9,005,680
受取手形及び売掛金	8,036,305	8,240,113
有価証券	6,750,027	2,599,996
商品及び製品	739,950	829,974
仕掛品	82,835	73,428
原材料及び貯蔵品	1,942,698	2,265,007
繰延税金資産	402,078	435,088
その他	207,797	252,888
貸倒引当金	△4,359	△4,159
流動資産合計	24,225,275	23,698,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,667,362	3,678,557
減価償却累計額	△2,697,313	△2,721,656
建物及び構築物（純額）	970,049	956,901
機械装置及び運搬具	6,221,260	6,421,016
減価償却累計額	△4,798,329	△4,956,792
機械装置及び運搬具（純額）	1,422,931	1,464,224
工具、器具及び備品	5,270,227	5,402,178
減価償却累計額	△4,946,770	△5,016,488
工具、器具及び備品（純額）	323,456	385,689
土地	1,143,940	1,143,940
建設仮勘定	—	151,000
有形固定資産合計	3,860,377	4,101,756
無形固定資産		
ソフトウェア	89,608	80,489
その他	12,019	11,380
無形固定資産合計	101,628	91,870
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	122,883
投資有価証券	13,288,546	15,198,690
繰延税金資産	27,833	7,015
その他	144,996	144,652
投資その他の資産合計	13,461,376	15,473,242
固定資産合計	17,423,383	19,666,868
資産合計	41,648,659	43,364,888

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,181,027	1,187,603
未払金	455,897	330,649
未払法人税等	610,138	773,518
賞与引当金	408,357	398,549
製品保証引当金	567,000	663,000
その他	490,937	421,644
流動負債合計	3,713,357	3,774,964
固定負債		
退職給付に係る負債	85,797	209,890
繰延税金負債	—	59,247
その他	162,148	158,634
固定負債合計	247,946	427,772
負債合計	3,961,304	4,202,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,055,000	2,055,000
資本剰余金	2,288,350	2,288,350
利益剰余金	34,533,775	35,732,989
自己株式	△1,523,002	△1,523,058
株主資本合計	37,354,123	38,553,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	307,095	452,999
為替換算調整勘定	△6,082	127,191
退職給付に係る調整累計額	5,666	2,833
その他の包括利益累計額合計	306,679	583,024
非支配株主持分	26,552	25,846
純資産合計	37,687,354	39,162,151
負債純資産合計	41,648,659	43,364,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月21日 至平成28年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月21日 至平成29年11月20日)
売上高	10,573,930	13,061,368
売上原価	7,465,628	8,776,193
売上総利益	3,108,302	4,285,175
販売費及び一般管理費	1,617,029	1,861,607
営業利益	1,491,272	2,423,567
営業外収益		
受取利息	32,765	23,298
受取配当金	30,462	24,762
為替差益	4,374	—
受取補償金	24	23,490
その他	15,274	37,143
営業外収益合計	82,902	108,694
営業外費用		
為替差損	—	17,141
その他	420	—
営業外費用合計	420	17,141
経常利益	1,573,755	2,515,121
特別利益		
固定資産売却益	197	406
特別利益合計	197	406
特別損失		
固定資産除却損	1,372	1,134
特別損失合計	1,372	1,134
税金等調整前四半期純利益	1,572,580	2,514,393
法人税、住民税及び事業税	346,140	752,597
法人税等調整額	103,762	△15,610
法人税等合計	449,903	736,986
四半期純利益	1,122,676	1,777,406
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,659	3,077
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,117,016	1,774,329

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月21日 至平成28年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月21日 至平成29年11月20日)
四半期純利益	1,122,676	1,777,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105,357	145,903
為替換算調整勘定	△249,898	134,786
退職給付に係る調整額	△1,903	△2,833
その他の包括利益合計	△146,443	277,857
四半期包括利益	976,232	2,055,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	972,439	2,050,673
非支配株主に係る四半期包括利益	3,793	4,589

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月21日 至平成28年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月21日 至平成29年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,572,580	2,514,393
減価償却費	331,360	375,133
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,400	△369
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,054	△10,009
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△13,000	96,000
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△120,880
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△115,102	117,825
受取利息及び受取配当金	△63,228	△48,061
為替差損益 (△は益)	△7,575	3,056
有形固定資産売却損益 (△は益)	△197	△406
有形固定資産除却損	1,372	1,134
売上債権の増減額 (△は増加)	△564,530	△164,892
たな卸資産の増減額 (△は増加)	333,569	△382,646
仕入債務の増減額 (△は減少)	245,382	△34,007
その他	△37,645	△107,708
小計	1,684,639	2,238,559
利息及び配当金の受取額	64,915	53,271
法人税等の支払額	△316,020	△578,999
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,433,534	1,712,831
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△319,534	△740,098
有形固定資産の売却による収入	354	583
投資有価証券の取得による支出	△1,500,300	△1,800,300
投資有価証券の償還による収入	500,000	4,250,000
その他	△2,038	△4,916
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,321,518	1,705,267
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△36	△56
配当金の支払額	△291,298	△574,999
非支配株主への配当金の支払額	△3,163	△5,295
財務活動によるキャッシュ・フロー	△294,498	△580,351
現金及び現金同等物に係る換算差額	△180,829	99,989
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△363,311	2,937,738
現金及び現金同等物の期首残高	6,350,213	5,767,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,986,901	8,705,680

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年5月21日 至平成28年11月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,208,882	871,614	361,941	1,131,492	—	10,573,930	—	10,573,930
セグメント間の 内部売上高	1,690,498	—	—	—	377,257	2,067,755	△2,067,755	—
計	9,899,381	871,614	361,941	1,131,492	377,257	12,641,686	△2,067,755	10,573,930
セグメント利益	1,309,142	13,174	5,858	47,146	68,332	1,443,653	47,619	1,491,272

(注) 1. セグメント利益の調整額47,619千円は、セグメント間の取引消去4,174千円及び棚卸資産の未実現損益の消去43,444千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年5月21日 至平成29年11月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,647,309	1,256,498	516,439	1,641,121	—	13,061,368	—	13,061,368
セグメント間の 内部売上高	2,411,690	—	—	—	600,627	3,012,317	△3,012,317	—
計	12,058,999	1,256,498	516,439	1,641,121	600,627	16,073,686	△3,012,317	13,061,368
セグメント利益	2,064,480	107,523	12,311	84,729	130,209	2,399,254	24,312	2,423,567

(注) 1. セグメント利益の調整額24,312千円は、セグメント間の取引消去25,854千円及び棚卸資産の未実現損益の消去△1,541千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。